

誰が私の名前を消したのか？

—艾未未アイ・ウェイウェイ 2014

Who deleted my name? Ai Weiwei 2014

牧 陽 一*

Yoichi MAKI

1 エイズ西瓜

2011年度から13年度まで「中国現代アートにおける政治性」をテーマに研究を進めてきた。2011年4月3日から6月22日、艾未未が逮捕投獄される事件が起きた。筆者はこの前後を含め、2009年から13年までで7回にわたって艾未未と面談し、3回インタビューを試み、公表してきた。この間比較的大量の翻訳、論文をweb雑誌ARTYT、埼玉大学紀要教養学部などに発表し、12年には400p近い研究書『艾未未読本』を翻訳執筆編集して上梓した。また最終年度内の2014年2月には2冊目の艾未未研究書『アイ・ウェイウェイ スタイル』を刊行できた。ここで明らかになってきたのは艾未未の作品の多くには中国の社会問題が常に裏付けとして存在することだった。

それは2008年の北京オリンピック、四川汶川大地震の年から顕著なものとなっている。特に四川汶川大地震以後、艾未未が、手抜き建築が原因で倒壊した校舎の下敷きになって亡くなった子供たちの名簿制作、実地調査した時点から始まっている。艾未未の作品『Straight (2008-12)』（写真1）は四川汶川大地震跡から回収した38tの鉄筋を真っ直ぐに伸ばして並

べたものだ。「あの子はこの世界で7年間幸せに過ごしたのだ」という犠牲者の母親の言葉を8738個の通学鞆でつくった作品ⁱ、また通学鞆で蛇の形につくった作品（蛇は再生の意味を持つ）ⁱⁱは追悼の意味と地方政府の腐敗が原因で亡くなった「人災」への憤怒が込められている。

また2013年トロントの野外展では3144台の自転車で構成された『永久・自転車』が展示された。この作品は登録証のない自転車に乗っていたために起きた楊佳事件を思い起こさせる。登録証が無いというだけの理由で楊佳は警察にリンチを受けた。性器を潰されたという伝聞もある。2008年7月楊佳はそれを恨みに思っ警察官を殺害した。なぜ楊佳が警察官を殺したのか？を明らかにしないまま、同年11月楊佳の死刑執行が敢行された。この事件は警察暴力と司法不在を浮き彫りにした。艾未未は「1台の自転車の合法性の問題が1つの国家の司法の合法性問題を引き起こし、一個人の死亡が国家司法倫理の死亡を誘発する。」と指摘する^{iv}。

また艾未未は2013年5月香港で「粉ミルクの国」を発表。1815缶の粉ミルク缶で横10メートル縦8メートルの中国地図をつくっている。2008年9月には中国でメラミン入り毒ミルク事件が起き、6人の幼児が死亡している。また腎臓結石など30万人に障害が出たという。こ

* まき・よういち

埼玉大学教養学部教授、中国現代文化

うした問題を忘却させないためにもこの作品の存在意義は大きい。

さらに謎解きができていなかった艾未未の「陶器のスイカのシリーズ」2006年（写真2）もまた社会問題につながることができるだろう。農村の貧困は売血を促し、売血の際に使われた注射器の針を共用することでエイズが蔓延する結果となったことは耳目に新しい。例えば阿古智子『貧者を喰らう国』など日本の研究者も中国政府保険機関の責任を問うている。そして「エイズ患者の血を注射した西瓜が市場に出た」というデマが飛び出す事件が起きている^v。1999年には河南省開封尉氏県で、2006年6月には安徽省阜陽、2012年には湖南省で、今年2014年には瀋陽で同様のデマが出て市場を混乱させている。とすれば注射針の刺せない陶器の西瓜にはこの事件を引き起こす結果となったエイズ問題、政府の対処の問題を想起させる狙いもあったのだと考えられよう。

ソーシャルネットワークキングサービスを駆使した艾未未の発言は人権問題、言論表現の自由（インターネットの自由化）、司法の独立、公民社会の成立と公民の権利、権力と資本の癒着と腐敗から環境問題、食品の安全性、少数民族の問題、児童や女性への虐待問題へと多岐にわたる。だがいずれも現代中国の抱える重要な問題であり、結果的には弱者迫害へと連鎖する。そして全てが弱肉強食、原始的な現政権批判へと繋がっていく。社会に責任を持ち、変革を促していく態度は公民社会の成立をリードするものではないかと考えられる。

そして艾未未の作品は中国事情を知らないものにとっては禁欲的で幾何学的なミニマルアートに見える。例えば2008年当時ユーレンス現代アートセンターUCCA 館長だったジェローム・サンスのインタビューでは

「あなたは自身の創作実践が混乱でもって描かれているというのですね。でも実際にはあなたの作品を見るとミニマルズムの傾向がある。あなたの芸術や建築には混乱の形跡は見当たらない。AiWW：混乱していない表象の下に混乱が潜んでいる。見た目には混乱していないが、実際には酷く分裂していて言葉が足りない。」^{vi}と述べている。「表象の下に混乱」こそが中国の現状への艾のメッセージにほかならない。一見ミニマルな艾作品も、中国の現状を重ねて見る者には痛烈な現状批判のメッセージを含んだ作品へと変貌する。艾未未作品のこの二重性が作品の豊さに繋がり、中国という地域性を世界基準へと昇華させる。ここに艾未未作品の真骨頂があると言えそう。艾未未作品は解説を誘発する作品であり、作家の混乱の中身を考えていく必要がある。

2 マジック

崔健^{vii}：私にとって一番重要なのは音楽をやっていくことだ。艾未未アイ・ウェイウェイって賢いな。あくまでも芸術家であって政客じゃない。政府に迷惑かけたわけでもないし、徒党も組まない。ただ分かりやすいアートをやっているだけだ。それなのに社会を前進させている^{viii}。

中国を代表するロック歌手崔健は艾未未の支持者であることを止めない。2011年11月、艾未未に脱税の容疑がかけられ、異議申し立てをするなら、2週間以内に2400万ドルの半額を払うようにと税務当局から命令された。この時、3万人もの支持者が艾未未にお金を貸し付けた。すると御用学者、中国政法大学副教授呉丹紅（呉法天）は艾未未の集金方法が違法だと攻撃した。これに対して崔健は微博（マイクロブログ）で呉法天を殴ってやると公言している。^{ix}また崔健は2014年、日本の紅白歌合戦に匹敵する大型

番組「春晚聯歡会」出演を辞退している。原因は歌詞の書き換えなどの制限を受けたためとの見方がる。^xまた崔健は天安門には相変わらず毛沢東の肖像がかかったままで現状は全く変わっていないと発言し、反体制的立場を維持している。

一方艾未未は「春晚聯歡会に出たいよ」という歌をユーチューブに公開している。自宅軟禁を強いられているこの狡猾な反体制アーティストが一年を記念する国家的な番組に出れるはずがない。だがその事実を笑い飛ばすかのような歌は大衆に歓迎され、話題になった。

艾未未、左小祖咒、陳昇、周雲蓬、{我要上春晚}を訳してみよう。

お正月歌合戦（春節聯歡晚会）に出たいよ^{xi}
春風ホテルは南へ次は東へ　すぐ太平洋だ　そこには忘れられた小さな村　村には 1+3 人の爺さんが住んでいる　爺さんは年越しのテレビが好き　出し物は毎年変わらないけど　歌合戦に出てくる綺麗な娘　みんな大好きだ　本当はマジックをやろうと思ったが　カネもないし難しい　あれこれ考えたが　手堅いのは　そこら中の歌のコンクールに出ることだ　村人はみんな知っていた　爺さんたちの目的はお正月歌合戦に出ることだ　歌合戦に出れば　天下に名が轟き　故郷に錦を飾れる　娘とやれる　連れて帰れる　歌も歌える　踊りも踊れる　俺たちは社会を美しくした　歌も歌える　踊りも踊れる　その上何がアートか解っている　ラララ　まだ終わりじゃないよ　ラララ

三日車を乗り継いで　西へまた北へ　やっとのことでテレビ局に着いた　入口には皆に敬われているオッサンがいた　皆に並ぶようにと命令していた　俺たちは歌わなくていい　マジックを変えたいだけなのだ　歌は社会を美しくできると俺は言った「マジックは面白い　お前たち

のような田舎者を　消すことができる」本当は役人をやろうと思ったが　カネもないし難しい　あれこれ考えたが　手堅いのは　一生懸命に歌を練習してお正月歌合戦に出ることだ　並んだ人はみんな知っていた　オッサンの手には色とりどりのブラックリストカードがある　歌合戦に出れば　凄いいことになる　娘とやれる　連れて帰れる　歌も歌える　踊りも踊れる　俺たちは社会を美しくした　ラララ　歌も歌える　踊りも踊れる　どうしてもおとなしく並びたくない　ラララ　お正月歌合戦に出たい^{xii}

ここで気になる語彙は「魔術（マジック）」である。艾未未のことは「本当はマジックをやろうと思ったが」「マジックを変えたいだけなのだ」「オッサン（体制の側）の手には色とりどりのブラックリストカードがある」。そして体制側は「マジックは面白い　お前たちのような田舎者を　消すことができる」という。

そしてもう一つ注意すべき語彙はマジックをするための「牌（カード）」だろう。艾未未の語彙の中でまずカードが出現するのは2010年4月13日、香港中文大学での「艾未未香港対話」だ。「憲法でもいい。条規でもいい。誰もこの尺度に違反できないようにすべきだ。カードを出してイカサマをやって、カードを隠すなんて許せない。それでも無理に遊ばせておいて、カードを盗み、それが否だと言え、騒動を起こさせないようにと捕まえる。」^{xiii}カードは守るべきルールだが、体制側はそれを無視し、マジックをする。

2013年にも「あなたは共産党の新しい指導者（習近平）に対してどんな見方がありますか。彼らはこの厳密な抑制を緩めることはありますか。」というニューヨーク・タイムズの問いに対して

「目新しいものは何も見えない。いくらカードを変えようが、カードを持つのはいつも同じ手だ。それが彼らのやり方だ。彼らはずっと規則を守る事はないし、自らの憲法さえも尊重しない」^{xiv}と答えている。カードは法規、憲法を意味するだろう。つまり政府はイカサマをする、法を守らない、と批判するのだ。

また「マジック」も2013年9月筆者が行ったインタビューに出てくる。「彼らは自分が公正を守っていると言っているが、私たちから見れば、彼らは公正を守っていない。彼らはマジックを演じているのだ。手品だ。トランプ手品のように、とんでもない物を取り出して見せたり、無くして見せたりする。政府はマジシャンになろうとしているのだ。マジックで何かを出したり無くしたりする。これは公正ではない。マジックだ。マジックは子どもをだますことができる。子どもが見たら、素晴らしいと思うだろう。しかし、大人はみなマジックが偽物だと知っている。」^{xv}また体制的あるいは一般の芸術家たちの政治に対する被害者意識について「たくさんの人がマジックをしているが、マジックが自分をだましきれなくなったとき、残るのは気まぐれさだけだ。」^{xvi}と述べている。マジックという艾未未の語彙は2013年に連続して現れてくる。マジックは「虚偽」を意味するのは明らかだ。それは体制批判へと展開されている。

2014年8月現在、習近平体制の下、浦志強ら人権弁護士が逮捕され、周永康ら幹部まで汚職を理由に逮捕されている。基準が明確ではない。判断は当局に委ねられると言っている。司法不在なのである。また「いつ自分が標的になるかわからない」という恐怖を社会にもたらしている。^{xvii}艾未未はマジックという言葉でこうした権力者の傲慢さを批判する。政府に権力や土地が集中し過ぎている。本来、公民が言論や司法、

選挙を通じて体制を監視すべきなのに、それができない状態になっている。これを変えない限り、周永康ら腐敗幹部をいくら排除しても単なる政治運動になる。文化大革命同様であろう。

3、獄中記

艾未未が2011年4月3日から6月22日の81日間拘束された事件は終わってはいない。艾未未は不法入獄中、2人の看守に24時間監視された様子を再現したジオラマ作品を2013年ヴェネツィアで展示した（「S.A.C.R.E.D」2013）。また再現映像は2013年5月22日ミュージックビデオ「傻伯夷(シャーパーイー)」(写真3)でユーチューブに公表した^{xviii}。出獄後政府は猥褻罪や脱税罪など様々な方法で艾未未の社会的信用の失墜を狙ったが、それを公民の支持で乗り切っている。

更に2013年7月29日には獄中の民主運動家李必丰(李必豊)^{xix}の詩を朗読し、ユーチューブに公表している。おそらく胡佳^{xx}の勧めによるものだろう。以下に訳出してみたい。

「私の物語」^{xxi}

何もない、カネがない、愛がない。

私はこの刑務所で一生おとなしく過ごすしかない。私には何もない。

しかし心の中では、私には何があるのかははっきりしている。あらゆる天体、飛び回る小鳥、水の中の魚、これらはすべて私の友で、これら・精霊たちはいつでも私のお相手をする。

私はまだ考えることができる。囚人たちが女の話をして、我慢できず自慰をする時も、私は今なお思考を継続する。私には普通の人間の持っていないものがある——たとえ一滴の水でも、一握りの土、一枚の葉、一匹のミミズ、一匹の

魚でも、すべてが私の仲間だ。
私の気晴らしは彼らと話すことだ。ある時、私は午後の半日、一輪の花に物語を話した。

「私たちの眼は二つの涸れ井戸」^{xxii}
眼二つの涸れ井戸
乱れた眼光の奥は肥沃な沖積土
かつての愛の苗は涙の炎に燃え尽きた
私たちは悲しみのもう一方にある
高い壁に遮られ、遙か遠い太陽、遙か遠い山を見る
夜遙か遠くの人を夢見る
ばらばらに散り去った過去を懐旧の網で引き上げる
そして骨の中いっばいに骨を生やす

「天上の老地主」^{xxiii}
お前は天上の老地主
私はお前が人と呼ぶ種だ
お前は私の両親を肥料にして私を大地いっばいにまき散らす
だが私を捨てて去っていく
私が個人保有地で苗となるのを待つ
お前は天上の老地主
お前は金貨を鍛えて生活の鎌にする
一日また一日と熟していない私を刈り取る
お前は天上の守銭奴
知恵と知識を天上の奥にだんだん蓄える
それから真理と呼ぶ画餅を
飢える者たちに与え
一千百年来、争いは途絶えない

「こんな国では、私たちは冬眠するしかない」
^{xxiv}
だが冬の来るのが早すぎた
私たちの木々は枯れ始めた
私たちにはもうお伴できるような力はない

だから歳月の雪が私たちの黒髪を
だんだんと白髪混じりに染めていく
私たちの皮膚は亀裂ができた大地のようだ
冬が来た
私たちは冬眠する
心臓は疲れ
血液は疲れ
私たちは雪の下で冬眠する
このような国家では
私たちは冬眠するしかない

「息子」^{xxv}
写真は《聖書》の中にある
お前は父さんの心の中にある
父さんはお前の骨と肉の中にある
今夜父さんは傷口の一方でお前を想っている
お前は少しも知らないだろう
このすべてのすべては誰が解き明かしてくれるのか
お前を探し求める
私の息子
すべてがだんだんわからなくなる時
私はただ鉄格子に寄りかかり
血でお前の記憶に口づけする

「お前は」^{xxvi}
お前は
私の頭の中でうごめく虫だ
自由は高い壁の外にある
妻は高い壁の外にいる
息子は高い壁の外にいる
母も友だちも高い壁の外にいる
私は監獄の中にいる
お前は私の血の中にいる
うごめく虫は私を苛立たせるが
お前は私を私の中から治癒させるのだ

ここには獄中の孤独感、国家権力への憤怒、狂気、そして家族への想いが綴られている。艾未未の獄中の気持ちを代弁するものだろう。「傻伯夷（シャーボーイー）」の荒唐無稽さとは対照的な内心の葛藤が描かれている。艾未未の朗読する声も姿も全く抑揚がない。表現者としての一定の距離を保っている。艾未未は李必豊の気持ちを十分に理解するが自分には自分の表現方法がある、という事なのだろう。

しかし艾未未と共通する表現も見出すことができる。（以下下線部は筆者）「天上の老地主」では「お前は天上の老地主/私はお前が人と呼ぶ種だ/お前は私の両親を肥料にして私を大地いっぱいにまき散らす/だが私を捨てて去っていく/私が個人保有地で苗となるのを待つ/お前は天上の老地主/お前は金貨を鍛えて生活の鎌にする/一日また一日と熟していない私を刈り取る」と示している。天上の老地主は政府、体制を示すだろう。また「私」は種、苗に喩えられ、熟す前に老地主に刈り取られる。

艾未未は中国の状況を度々大地と植生に喩えている。「社会を芝生で例えると、様々な草が生えているべきだ。草が育って、土と水の流出を防ぐことができるからだ。だから、なぜ「厳しくすると中国社会はすぐにいい子になり、目を放すとすぐに乱れてしまうのか」と言うと、土地で例えれば、雨が降ると、水害になる。雨が降らなければ干ばつになる。ほかの状態はありえない。なぜなら、土壌が破壊されたからだ。」豊かな土壌とは社会面において宗教団体や社会团体、民間組織のあることだが、中国には政府と人民しかいない、異なる利益を代表する部分が欠落していると艾未未は言う。^{xxvii}民主化も同様で芽が出たところで刈り取られてしまうのである。さらに「異なる地域、異なる時代の芸術家でも、共通する直感と欲求をもってこそ、その時代の典型的なディスコースや特徴を作り上

げる。この特徴はその民族、あるいは地域の文化として影響力を持ち、啓蒙する働きも担う。この点が中国には非常に欠けている。土壌はすでに徹底的に破壊されている。種をまき収穫される前に何度も引っ掻き回され、別のものをめちゃくちゃに播かれてしまった。だから何も収穫を期待できない。生き残った苗があるとしたらそれこそ奇跡だ。」^{xxviii}ここでは文化の荒廃を破壊された土壌に喩える。政府の考えとは異なる意見も文化も未成熟なままに刈り取られ、引っ掻き回される。異なる意見を述べる新しい苗が出て引き抜かれ逮捕拘留される。それが中国の現状であると獄中の李必豊も艾未未も訴えていると言えるだろう。

4、名前を消される^{xxix}

「私たちは新疆ウィグル自治区に下放させられた。当時は懲罰として穴倉に住まわせられた。そこは安心感があった。穴倉の中は、冬は暖かく夏は涼しい。屋根が地面だから、家の屋根を豚が走っていくと、よく尻が天井から飛び出した。思い出す。穴倉には明かりが無い。父が入ってくる時、梁に頭をぶつけて、^{うずくま}蹲った。頭からは血が噴き出した。父はスコップで掘り下げて、床を 20 センチほど低くした。だから建築というのは人間にとって当たり前の多くの常識さえあればそれでいいのだ。／それから父はインテリだったから我が家に本棚が必要になった。父は穴を掘って本を放り込んだ。見たところそれは実に見事な本棚だ。だから私は理想的な建築などというものは存在しないと思っている。」^{xxx}

「あの頃新疆ウィグル自治区の生活は苦しいものだった。年に一度しか肉を口にできなかった。正月の時だけはトウモロコシのマントウに少しサッカリンが入っていて私を大喜びさせた。最

近、新疆に帰って昔住んでいたところに行ってみると、穴が一つ残っているだけだった。子供のころの仲間も年老いて朴訥な農民に変わり果てていた。私の心は荒涼としていた。」^{xxx}

理想的な建築は存在しない、つまり現実に取り組み大衆と通じ合う努力が形になったもの、それが建築なのだろう。そして少なくとも「殺さない建築」であることは 2008 年の四川汶川大地震以来変わらないテーマであり、日本の坂茂の建築にも共通している。人間への思いはアイ・ウェイウェイの現代アートや行動に一貫している。幼いころ生き生きと一緒に楽しく遊んだ仲間は、生活苦から覇気のない農夫に変わり果てていた。この一文は魯迅の小説「故郷」の閩土（ルントゥ）そのものだ。魯迅と艾未未が交差する。

艾未未の生活は 1981 年アメリカにいくまでの 20 年は父と共にほぼ流刑生活、アメリカでの 12 年は流浪生活、現在は監禁生活だ。殆ど通常の生活を過ごしていない。

2014 年 4 月 3 日から 7 月 7 日まで、ベルリンのマルティン・グロピウス・バウで『Ai Weiwei - Evidence (艾未未 - 証拠)』展が、4 月 18 日から 8 月 10 日まで、ニューヨーク、ブルックリン美術館で『Ai Weiwei: According to What?』展が開催されている。^{xxxii}

3 月 28 日、29 日、習近平がベルリンでメルケルと会談。艾未未は習に自分の展覧会を見ることを勧めて、同じ革命家の二代目でも如何に二人が違うのかを知ってほしいと言っていた。この時風刺漫画《鳩鶴漫画》691 (3 月 29 日) では「メルケル：(わー、艾未未の幽霊だー。) 習近平：怖がらないで、奴は北京に閉じ込めてあるはずだ。」と掲載された (写真 4)。当時ベ

ルリンの有志たちは中国政府に艾未未のパスポートを返却させ、美術展に招聘するようにメルケルに働きかけていた。艾未未の展覧会が開催されているというのに、中国政府の人権侵害、国際的取引の中、美術展の当の本人が出席できない状況が続いている。4 月 2 日、艾未未はもしも公正な選挙が実行されるのなら、中国共産党に勝ってほしいし、私が党のために働いてもいいと言っている。^{xxxiii} あくまで公正な民主選挙を行えばだが、艾未未には性急な政権転覆の意図はない。段階的な民主化が叶えば、政府に協力してもいいとまで言っているのだ。それなのに政権はあまり硬直化している。艾未未に対して、尾行、監視、襲撃殴打、拘留、監禁と「古いやり方の嫌がらせ」を続けている。

2014 年 4 月 30 日、「上海 CCAA 中国当代芸術賞 15 年展」開始 20 分前に、2008 年終身最優秀賞（傑出成就獎）、第 3 回評選委員会委員「艾未未 (アイ・ウェイウェイ)」の名前が削除された (写真 5)。

さらに一ヶ月後の 5 月 23 日、北京 798 ユーレンス現代アートセンター UCCA でオランダ人の中国現代アート研究者『戴漢志 Hans Van Dijk ハンス・ファン・ダイク (1946-2002) : 5000 の名前』展が開催された。しかし先の『CCAA 中国当代芸術獎十五年』展同様に艾未未の名前が消された。案内の写真からも艾の姿を切り取った。艾未未はこれに抗議して作品を撤収した。

戴漢志は 1986 年南京へとやって来る。北京に長年暮らし、多くの中国現代アーティストと交流した。艾未未は 1999 年、戴漢志とともに「中国芸術文件倉庫 CAAW チャイナ・アート・アーカイヴ&ウェアハウス Chinese Art and Archives Warehouse」を創設して多くのアーティストに表現の場を提供した。戴が晩年にな

って体を壊した時も給与を払い続けた。戴は2002年に逝去。葬式で彼の妻の手をとったのは艾未未だった。墓の設計までも艾未未が行った。最も大切な親友だったといえるだろう。

5月29日には崔燦燦が「艾未未作品撤収事件に関する説明」^{xxxiv}を公表している。まず開幕前に郵便で送付されたプレスリリースに2点問題があった。「ハンスは或る人と合同で中国芸術文献倉庫 CAAW を創設し、実験的なアートプロジェクトを激励する中国内で最も早い空間のひとつとなった」「作品展に参加したアーティストとそのグループは蒼鑫(CanXing)、陈劭雄(ChenShaioxiong)、丁乙(DingYi)、段建宇(DuanJianyu)、冯梦波(FengMengpo)、托马斯·福瑟(ThomasFuesser)、耿建翌(GengJianyi)、顾德新(GuDexin)、海波(HaiPo)、韩磊(HanLei)、洪浩(HongHao)、洪磊(HongLei)、李永斌(LiYongbin)、林一林(LinYilin)、刘安平(LiuAnping)、刘鼎(LiuDing)、刘野(LiuYe)、罗永进(LuoYongjin)、麦志雄(MaiZhixiong)、孟煌(MengHuang)、新刻度(New Analysts Group)、邱志杰(QiuZhijie)、荣荣(RongRong)、施勇(ShiYong)、孙凯(SunKai)、戴汉志(VanDijkHans)、王世龙(WangShilong)、王兴伟(WangXingwei)、王音(WangYin)、吴山专(WuShanzhuan)、徐宏民(XuHongmin)、徐坦(XuTan)、徐志伟(XuZhiwei)、颜磊(YanLei)、余友涵(YuYouhan)、张恩利(ZhangEnli)、张海儿(ZhangHaier)、张培力(ZhangPeili)、赵半狄(ZhaoBandi)、赵亮(ZhaoLiang)、赵少若(ZhaoShaoruo)、郑国谷(ZhengGuogu)、周铁海(ZhouTiehai)、朱发东(ZhuFadong)、庄辉(ZhuangHui)など」である。或る人とは艾未未と傅朗克(ベルギーのコレクター、フランク・ウイッテルハーゲン Frank Uytterhaegen)に他ならない。出品作家の名はピンインのアルファベ

ット順に並んでいるが、C から始まっており、艾未未 AiWeiwei は排除されている。出品作家であるのもかわらず、正式のインビテーションも送付されなかった。

偶然会場に来た艾未未は、来場していたオランダ大使から「君も来たのか。君もハンスを知っているの？」と言われたという。大使はハンスの事や中国現代アートに疎い人だったというが、最も大切な友人を記念した美術展でこんな事を言われた艾未未の思いは容易に想像できるだろう。

王兴伟は1999年「創新 I」展 CAAW、2000年「FUCK OFF」展(上海東廊画廊)、2004年魂、体に附かず CAAW、2005年私に告げて、私を捕まえて、隠された視界—謝南星と王興偉」展 CAAW と多数の美術展を艾未未のキュレーションで開催している。^{xxxv}その他にもいま確認できるだけで白宜洛(BaiYiluo)、洪磊(HongLei)、郑国谷(ZhengGuogu)、李大方(LiDafang)、于凡(YuFan)、伊德尔(Yide'er)、李松松(LiSongsong)といったアーティストがCAWWでの展覧会に参加して、芸術活動を開始している。^{xxxvi}2000年代、CAWWはまさに若いアーティストにとっての登竜門であり、多くのアーティストを発掘している。艾未未は中国現代アートに多大な影響を及ぼしている。動かしてきたと言っても過言ではない。1990年代の「北京東村」、2000年「FUCK OFF」展の「死体派」を世に出し、これに続いて、多くのアーティストをCAWWから排出していった。

5月23日午後5時、艾未未は3点の作品「安全性」1986「金の玉子を伴うバイオリン」1986「ピアノ」2004^{xxxvii}を展覧会から撤収したがその前にUCCA館長の田霏宇 Philip Tinai に電話している。その内容は艾未未の Instagram に

30日に掲載された。「…艾：もう言い訳はできない、上海の連中も私の名前を削除した。前世紀1990年代の中国アートを語る時、私の参与を避けることはできないはずだが。私は全ての名前を確かめた。丁乙(DingYi)、王兴伟(WangXingwei)、cからzまで。aだけがない。ずいぶん面白い。田：未未そう決めたわけじゃないのだ。そうしなければいけなかったのだ。私たちの主席執行官がそうしなければいけないと。誰もが恐れている。警察は尾行している。盗聴している。…」^{xxxviii}当局から明確な指示があったと思われる。^{xxxix}「中国の特殊な原因」から艾未未の名前は削除された。

艾未未は午後7時にUCCAのCEO 薛梅に電話している。

「薛：元々プレスリリースにはあなたの名前はあった。だが彼らが私たちにあなたの名前をまず削除しろと言った。艾：誰が削除しろと言ったのだ？ 薛：あなたの全ての作品は審査しなければいけない。それから私は尽力努力してあなたの作品を展示したのだ。艾：君は私にはっきりと言っていない。誰が私の名前を削除するように言ったのだ？ 薛：誰だって？ 艾：誰があなたに私の名前を削除するように言ったのだ？ 薛：はっきり聞こえない…艾：あなたは「彼らがまず私の名前を削除しろと要求した」と言ったが、この彼らとは誰だ？ 薛：いない。私たちの展覧会期間は敏感な時期に入っている。だからあなたの名前を削除した。先に作品を通過させて、作品を出してから名前を壁に書いて、プレスリリースにはしばらく名前はないけど、一番恐れているのは今日の開幕に彼らが来てここを封鎖することだった。私の言うこと分かる？ 艾：彼らとは誰だ？ 薛：ああ、それは、私たちは法人だから、多くの事で責任を負わなければいけない。艾：私はあなたと関係ない。あなたは彼ら、彼らってずっと言うが、彼らとはいっ

たい誰だ？ いったいどんな意味だ？ 薛：それはいろいろよ。中宣部（中国共産党中央宣伝部）とかいろいろ。艾：中宣部があなたたちの美術展を管理するのか？ 薛：私たちの所は外国資本の美術館だから、全てに報告と連帯責任がある。艾：では私の名前を削除して、ほかの名前は削除しないとなぜ分かったのだ？ 薛：そんなことはない。もっといろいろあって。艾：私には分からない。ではハンスと「或る人」が文献倉庫を創設したとあなたはどのように言えるのだ。あなたがした事は私の名前を削除したばかりか一時期の歴史を改竄したことになるのだ。彼は私と共に芸術文献倉庫を創設したのだ。あなたはなぜ「或る人」と共同で創設したと言えるのだ？ それは可笑し過ぎるだろう…」^{xl}

無難に展覧会を成功させようとした開催者の意図がはたらいた。それは表現の自由を妨げる行為に同調することになる。こうした自主規制こそが当局の思うツボになる行為だ。そしてそれは歴史を改竄することだ。艾未未は作品を撤回することによって「中国現代アートの奇妙な現象に対しての蔑視を示した」。

さらに艾未未は5月25日、26日、27日美術展に出品したアーティストに電話して考えを訊き、作品の撤回によって態度を示すように要求した。25日、王兴伟、张离、刘安平、颜磊、李松松、赵少若、荣荣、多くのアーティストが艾未未への支持を示している。内容はInstagramに公表された。赵少若(ZhaoShaoruo) 颜磊(YanLei)らが撤回に同意した。孟煌(MengHuang)は「明確な態度、アーティストの曖昧な言説や利益を量る中で動揺する心理状態への決別だ」と艾未未の行動を評価した。だが王兴伟(WangXingwei)は撤回を拒んだ。作品の撤回は主催者の努力を尊重しないことであり、撤回しなくとも艾未未を傷つけることにはならないと考えたからだった^{xli}。また同じ時期に

UCCA で王兴伟の個展が開催されている。撤収するわけにはいかなかったのだろう。

評論家の鲍栋^{xlii}は艾未未がアーティストから何もしないという「消極的な自由」を略奪したと批判する。さらに鲍栋は艾未未には計画的な策略があったのではないか、艾はこうしたテクニックを把握している。そしてこの美術展の主役となったのだという。^{xliii}

「風雨声」の記事の筆者は、公民の政治的な権利を認めない国家、言論結社の自由のない状況下では、消極的自由など存在しない。しかも人々は潜在的な不文律を熟知している。政治的なタブーや路線を知り尽くし自在に回避できるはずだ。消極的な自由というのは犬儒的で非現実的、臆病で利己的な言い逃れにしか聞こえない。そして現今の芸術界は自己規制に慣れ、感覚が麻痺していると反論する。

また若い評論家の鄢醒 (YanXing) ^{xliiv}は艾未未のやり方を、西方に迎合したマーケティング戦略だとし、西方が中国に抱く偏見を深めるばかりで他に何の意味もないと非難した。さらに鄢醒はニューヨーク・タイムズが艾未未作品撤退事件を報道するだろうと予測し、2日後の29日にはその通り「(艾未未の) 生き様はそのままアートになった」と報道された。^{xlv}

艾未未は名前が消された後にも艾を支援する声がないのは「中国の国民性、現代アートの所謂モダニズムと今日の社会がもつ、個人の表現への恐れを如実に反映している。この恐れは各個人に深く入り込むばかりか、アーティストの深部に入り込んでいる」「私の行為は私のアートの一部であり、私の堅持する理念の一部でもある。それはこの社会がなぜアートが必要なのかという事でもある。なぜならそれはいっそう赤裸裸で結果を予測しない表現だからだ。」^{xlvi}という。

艾未未のハンスとの関係、2000年前後の中国現代アートへの貢献を考えれば、艾未未の行為は至極当然のものだろう。先の鲍栋のいう「計画的な策略」でもなく、鄢醒のいう「西方に迎合したマーケティング戦略」でもないだろう。

こうした実際を知らない悪意に満ちた「怨望」予測に対して艾未未自身がユーレンス現代アートセンターとの関わりを明らかにしている。2011年2月ユーレンスでは艾未未が1年以上準備してきた「艾未未回顧展」が作者本人に何の理由も告げられないままに中止となっている。同年4月3日には北京国際空港で艾未未が拘束され行方不明となった。その同じ日、香港のサザビーズではユーレンスから4億2千7百万香港ドルの現代アート作品が出品された。UCCA館長の田霏宇 Philip Tinai は「艾未未は静かに展覧会を開くのが好きじゃない」^{xlvii}と言ったが、これは公正を欠くだろう。元々収益のために艾未未の存在を消そうとしていたのはユーレンス自体だったのである。

またユーレンスと艾未未の関係に補足すべき点がある。ユーレンス現代アートセンターは2007年11月5日、北京大山子798工廠跡に開館する。こけら落しの最初の美術展が「'85 New Wave Movement: The Birth of Chinese Contemporary Art (85新潮: 中国現代美術の誕生)」だった。徐冰、王広義、張培力ら30人の作家による137点の絵画、写真、ビデオ、インスタレーションを展示した。^{xlviii}この美術展について艾未未は「ユーレンス現代アートセンターのオープニングには行きましたか? AiWW: あんな展覧会に行くわけがない。吐き気がする展覧会、典型的な新植民地主義展覧会だ。」と非難し、1980年代も「臭気たよう時代」だったと批判する。艾未未は1979年の星星画会のメンバーだった。2回の美術展に参加

している。そして本来「中国現代アートの誕生」は星星画会に帰すべきであろう。まるで星星の成果を無視するような展覧会だ。正に美術史を改竄している。しかも外国資本によるものだ。事実 85 美術運動は体制側が許可した結果生まれた体制内運動であった。そのことについては陳丹青も既に言っている。^{xix}艾未未は開館のその日からユーレンスのやり方には批判的だった。さらに自らの個展の打ち切り、今回の名前の消去、度重なったデタラメな対応に忍耐できるはずもなかっただろうと想像できる。

また鮑棟は 2011 年 2 月艾未未の「ヒマワリの種」について「艾未未は書斎の中にはいない。確かに政治実践活動の第一線にいる。このために一定の代価を支払うことになるだろうが、多くの作用を及ぼすだろう。」と言っている。^l驚くべきことはこの段階で「代価を支払う」と 2 ヶ月後の艾未未逮捕投獄を予測していることだ。先のユーレンスの艾未未回顧展中止と同様に後の艾未未失踪を既に「知っている」。体制の側と通じているのではないだろうか？また鮑棟は艾未未の作品を張藝謀の人海戦術と何の変わりもないのではないかと批判している。それこそ政治的観点で艾の作品をプロパガンダと同様なものに単純化してしまい、批評の責任を回避している。艾未未の「ヒマワリの種」は多角的な評論を許す開かれた作品である。それゆえに世界的評価が高いのである。鮑棟のプロパガンダと同一化する単純な批評は批評家の責任を回避し体制におもねるだけの悪意に満ちた駄文と言うしかない。

こうした体制側からの批判は批判になっておらず、艾未未の名前を消そうとした事によって逆に艾未未の名が消された事実が多くの人々に知らされる事となった。そして体制側の表現の自由への抑圧と、体制側につく者の自主規制を

顕わにした。艾未未は以下のように言っている。

「(彼らは) 言論統制、自主規制への検証を回避して、アーティストの名前が消され、作品の存在が除かれる事に賛同している。中国現代アートに関する論争は、中国の特色を持つという思い込みの片思いにしかない。作品撤退事件が誘発したのは人間の価値と言論の自由への詰問である。中国現代アートの“正しいも間違いもない”とか“手配したとか策略がある”という方向へと影響させるものではない。」^{li}

論争が論争にならない、中心問題である「人間の価値と言論の自由」への論争を離れていく。問題の核心を語らせない。艾未未が策略したというより逆にユーレンス側や鮑棟御用評論家が核心を語らせないように策略したと疑いたくなるではないか。

艾未未と戴漢志の設立した CAAW 最後の美術展は 2011 年 9 月 23 日から 11 月 20 日開催された。毛同強ⁱⁱⁱ「我有一个梦 I Have A Dream」キュレーターは馮博一。ⁱⁱⁱⁱキング牧師の同名の演説を西夏文字学の大家、李范文^{liv}が西夏文字に訳し、それを石版の刻み、床に敷き詰めた。

「生命、自由および幸福追求」という「譲ることのできない権利」がすべての人に保証される世界を求め、「正義が水のようにこぼれ落ち、公正さが強力な流れになる」まで満足せず、「すべての人々は平等に作られている事を、自明の真理と信じ」続ける。一自由と平等を求めるこの著名な演説を西夏文字という滅びた民族の文字で綴っている。艾未未の普遍的な理想を代弁するかのようなのだ。

中国国内では、当局によって 艾未未は存在しない、存在しなかったという「不在」工作が続いている。これは全ての影響力発言力を無にしようとする私たちがよく知っている古い嫌が

らせの方法、「活埋」(生き埋め)ではないか。名前を削除、作品展示禁止という政府の弾圧はツイッターでたちまち世界中に知れてしまう。政治とは関係のないアート界でも艾未未の名は禁句となり、それに抵抗する人間もいない。言論、表現の自由への偏執狂的な体制側からの弾圧と臆病な自己規制が蔓延している。

例えば習訪問に合わせた2014年4月30日夜のウルムチの爆破事件も行き場を失った民衆の抗議だろう。民衆の言いたいことは、武力によって権力を守ることに使っている労力を改革や民主化に回せということだ。暴力で権力を守るのではなく艾未未のいう「変えていく力」^vを発揮すべきなのだ。

国内で生き埋めにされる艾未未だが、逆に中国以外の世界では本人不在のままに美術展が開催され、艾未未の存在意義は大きくなるばかりだ。政府はこれ以上艾未未の情報を止められないだろう。2014年8月1日現在艾未未を描いたドキュメンタリー映画「アイ・ウェイウェイは謝らない (Never Sorry)」はエミー賞2部門にノミネートされている。また新たに艾未未を描いたドキュメンタリー映画「The Face Case」も完成した。資金調達に艾未未の名を使ったために問題になっているが、艾未未が主演するSF映画「砂嵐 (The Sand Storm 沙塵暴)」も制作されているようだ。政府が艾未未の名を消そうとするなら、私たちはアイ・ウェイウェイ! アイ・ウェイウェイ! と彼の名を叫び続けなければならないのではないか。

5、レッグガン 花

2014年6月6日から艾未未のインスタグラムには片方の足を抱えて銃に見立てて何かを狙う姿の写真が掲載され始め、ツイッターなどのSNSで大流行することになる。最初は立った

まま自分の左足を抱え込み銃に見立てた3人の女性の写真が話題になった。これは2014年6月14日「人民網」に載ったもので、革命模範劇「紅色娘子軍」を演じて2010年第7届荷花奨を受賞した河南大学芸術学院舞蹈系の写真だった。ネット上には「これじゃ武器にならないよ」とか「我が国最新兵器」などと笑いを誘うメッセージが加えられた(写真6~10)。艾未未は様々な人々のレッグガンをついtwitterやInstagramに掲載し始めた。写真の通り「銃を取るなら、自分の足でも抱えている」という反暴力の意味を看取できる。艾未未はその意図を以下のように説明する。「最近SNSでレッグガン流行が起きた。その目的は反テロ運動の中で武力が過度に使用されている事に反対することだ。」AP通信は艾未未の言葉を引用して、「9・11世界はテロ襲撃のもたらす恐怖を経験して、以来人々の銃保有率は低下しない。反テロの名目で武力が過度に使用される状況になっている。」と述べている。^{vi}

ここでは21世紀の始まりはツインタワー爆破に象徴される。この富と権力の象徴の前で1988年、艾未未と厳力がヌードで写真を撮っている。また艾未未のニューヨーク時代の友人アレン・ギンズバーグは死の4年前1993年2月26日金曜日午後VA病院 ブロンクス:カール・ソロモン[テレビでツインタワーの爆発を見ながら]大騒ぎの最中に...^{vii}、と示している。これは1993年2月26日ニューヨークの貿易センタービルの地下駐車場で爆弾が爆発した事件で、アルカイダが関与したされている。偶然ではあるが艾未未もギンズバーグも21世紀の始まりを予感していたのではないだろうか。

7月以降、艾未未のtwitterには「Flowers for freedom」と題して、世界中から花の写真が集まっている。イスラエルのガザ地区への空爆、そしてウルムチでのウィグル族、ラサなどでの

チベット族への弾圧、浦志強ら人権派弁護士の逮捕拘留などに対する抗議、先のキング牧師の演説と同様、平和への意志を見出せるだろう。

艾未未は理想を捨てることはない。諧謔的な表現も加えながら、政府を批判する態度を維持し、自由と平和への表現を続けている。

- i 牧陽一〈「もの」と現実—艾未未/隋建国〉aica JAPAN NEWS LETTER ウェブ版 第3号美術評論家連盟会報2013年12月31日発行 美術評論家連盟 (AICA JAPAN)
- ii 2009年10月12日からドイツ・ミュンヘンのハウス・デア・クンストで開催された「So Sorry」展で美術館の壁面いっぱいに掲げられた[Remembering]。
- iii 2009年7月25日から森美術館で開催された「アイ・ウェイウェイ何に因って？」展。蛇は再生の意味を持つという指摘は大阪市立大の松浦恆雄氏による。『艾未未読本』『Ai Weiwei: Never Sorry』について中国文芸研究会2013年5月例会 (関西学院大学梅田キャンパス2005号室) 2013/05/26
- iv 艾未未著牧陽一編著『アイ・ウェイウェイスタイル』(勉誠出版) 2014年2月, 85P。
- v 阿古智子『貧者を喰らう国』新潮社2009年 p.30 参照。艾滋西瓜(エイズ西瓜)で検索すると30万もヒットする。後にはエイズバナナなども登場している。
- vi 「本当に知らない」牧陽一編『艾未未読本』(集広舎2012年) p223
- vii ウィキペディアでは「崔健(ツイ・ジェン、Cui Jī Jiàn、朝鮮語 チェ・ゴン、최건、1961年8月2日)は中華人民共和国の歌手、演奏家、作曲家。中国におけるロックンロール創始者のひとりとみなされる。北京生まれ、北京育ちの朝鮮族である。崔健は中国のロック音楽界のパイオニア的存在であり、中国の大衆音楽にロックのスタイルを取り入れた最初の中国人アーティストである。代表作『一無所有』(何もない)は1980年代後半の中国を風靡した。」と紹介している。64天安門事件の際にも天安門に現れた崔健は当時の学生運動のアイコンでもあった。
- viii 邓昊 @denghao_ ・6月5日崔健: 对我来讲最重要的事情就是搞音乐。我真的觉得艾未未 @aiww 很聪明, 他的身份定位是艺术家而非政客。他没给政府造成很大的麻烦, 没有拉帮结派, 他就是简简单单地搞艺术。不过, 他仍然推动着社会的前进。中国摇滚教父崔健谈“六四”The wall street journal 2014年06月04日 19:02 日本語訳は牧陽一 @muyangyi 6月7日
- ix 艾未未「借款」被攻击 崔健宣布要揍五毛吴法天(图) 京港台: 2011-11-7 03:34 | 来源: 参与 <http://www.backchina.com/news/2011/11/07/166897.html>

- x 崔健退出14央视春晚 或与节目审查有关 新華網 2014年01月18日 13:18:36
http://news.xinhuanet.com/video/2014-01/18/c_126024812.htm
崔健: 毛像还挂天安门 时代就没有改变 美国之音 08.02.201422:47
<http://www.voachinese.com/content/chinese-rock-er-20140208/1847531.html>
- xi 翻訳は2014年1月31日のブログ「牧陽一の日記」に公表した。春節歌合戦に出たいよ 歌える 踊れる だけど大人しくしてないから出られないのか な? <http://d.hatena.ne.jp/mushou/searchdiary?word=%BD%D5%C0%E1%CE%FE%B4%BF%C8%D5%B2%F1&.submit=%B8%A1%BA%F7&type=detail>
- xii 陳昇流浪日記三部曲 {我要上春晚} 官方版MV 2014年1月30日ユーチューブに公開
原文は我要上春晚
春风酒店向南再向东 快到了太平洋 那儿有被遗忘的小村庄 村子里住着一加三个爷 爷们最喜欢的是过年 每一年的节目虽然都不改变 但是春晚里漂亮的姑娘 哪个人会不喜欢 本来想要学魔术 可是没钱觉得太难 想来想去 最实在的是 到处去参加唱歌比赛 村里的人都知道 爷们的目的是上春晚 上了春晚 扬名天下 衣锦还乡 泡个姑娘带她回家 我会唱歌 我会跳舞 美化了我们的社会 我会唱歌 我会跳舞 还有懂得什么是艺术 啦啦啦 有没完 啦啦啦
转了三天的公交车 向西又向北 好不容易到了电视台 门口有一个被尊敬的大爷 指挥着人们在排队 我们不要歌唱 只要变魔术 我说歌唱能美化社会 魔术好玩 可以把你们这些乡巴佬 都变不见 本来想要学当官 可是没钱觉得太难 想来想去 实在是 抓紧练歌上春晚 排队的人都知道 大爷手上有彩色的黑名单 上了春晚 有了名堂 泡个姑娘带她回故乡 我会唱歌 我会跳舞 美化了我们的社会 啦啦啦 我会唱歌 我会跳舞 就是不爱乖乖的排队 啦啦啦 我要上春晚
陳昇流浪日記三部曲 {我要上春晚} 官方版MV 2014年1月30日公開
<https://www.youtube.com/watch?v=VmzXCRqYWHO>
- xiii 牧陽一編『艾未未読本』(集広舎2012年) 122-123p
原文は「你可以一党独大, 但是你把这个尺度定好, 我们按你这个尺度来, 谁都不能违反这个尺度, 无论宪法

- 也好,还是一个条规也好。你不能够说你又发牌,又作弊,又藏牌,你还逼着我们跟你玩,如果我们说你在偷牌,你说不行:我得把你关起来,因为你是捣乱。」艾未未访谈集『寻找快乐的能力』大山文化出版社 2013 年香港 299p
- xiv 聞き手: ラリー・ローター「何も隠すこともないのに監視されている」ニューヨーク・タイムズ中文版 2013 年 2 月 28 日: 艾未未著牧陽一編著『アイ・ウェイウェイスタイル』58p
- xv 聞き手: 牧陽一「アイ・ウェイウェイインタビュー2」2013 年 9 月 12 日午前 10:00 北京草場地フェイクスタジオ艾未未著牧陽一編著『アイ・ウェイウェイスタイル』133-134p
- xvi 対話者: 艾未未、崔燦燦 阪本ちづみ訳「不合作方式 (FUCK OFF) 2」に関する対話 2013 年 4 月 2 日艾未未著牧陽一編著『アイ・ウェイウェイスタイル』180p 原文は「很多人是在玩魔术,但是当玩魔术都骗不了自己的时候,剩下的只能是尴尬。」
- xvii 張千帆インタビュー 聞き手: 吉岡桂子 『朝日新聞』2014 年 8 月 1 日 15 版
- xviii 牧陽一「艾未未アイ・ウェイウェイ 2013—勇気を蓄積する」『埼玉大学紀要 教養学部』第 49 卷 (第 1 号) 2013 年 9 月に訳出した。また 2013 年 11 月 28 日字幕付きの映像を集広舎ホームページに掲載した。<http://www.shukousha.com/information/news/2653/>
- xix 李必豊 (リィ・ビィフォン)、民主化運動家、詩人。1964 年生まれ。四川省綿陽氏出身。1989 年四川省大学自治連合会主席、王丹らとグループリーダーを務める。北京と四川で 64 天安門学生運動を支持する活動を行う。1990 年 3 月、反革命扇動罪、刑期 5 年。廖亦武らと雅安刑務所で服役。1993 年王丹、吾尔开希らとの写真が《タイム》誌の表紙に載ったため減刑を受けられず、1994 年出獄。1998 年政治的原因で再び懲役 7 年。合計 12 年。2012 年 11 月契約違反罪で懲役 12 年。(2013 年 6 月には 10 年に減刑)。経済事犯を装っているが、2011 年反体制作家の廖亦武のドイツ亡命を李必豊がほう助したからと言われている。ノーベル賞文学受賞作家ヘルタ・ミュラーらも加わって釈放を訴えている。
- xx 胡佳 (フー・ジア) 1973 年生まれ。民主化運動家。別名胡嘉。北京経済学院 (現在の北京首都経済貿易大学) 1996 年卒業。妻は同じく活動家の曾金燕。活動は環境問題、中国におけるエイズ問題に至る。2006 年 26 日から 41 日間の拘留。2007 年 12 月 27 日、国家政權転覆扇動罪で逮捕。3 年 6 か月の禁固刑。2011 年 6 月に所。現在は自宅軟禁。
- xxi 艾未未读李必丰的散文《我的故事》
<https://www.youtube.com/watch?v=qCA8khYro0U>
《我的故事》/ 什么都没有, 没有钞票, 没有爱情。/ 我只能老老实实在这监狱里呆一辈子, 我什么也没有。/ 可我的心里清楚我有什么, 日月星辰、飞翔的鸟儿、水里的鱼儿, 这些都是我的朋友, 这些-精灵每时每刻都与我相伴。/ 我还有思想, 当四周犯人谈论女人, 忍不住打手淫时, 我仍在继续思考, 我拥有常人所没有的——哪怕一滴水, 一把泥土, 一枚叶子, 一条蚯蚓, 一条鱼儿, 都是我的伙伴。/ 我的消遣就是和它们交谈, 有一次, 我给一朵花儿讲了一下午故事。
- xxii 艾未未读李必丰的诗《我们的眼睛是两口枯井》https://www.youtube.com/watch?v=j1_WuJNhrU
《我们的眼睛是两口枯井》/ 眼睛这两口枯井 / 散乱的目光深处是肥沃的淤泥 / 曾有爱情的禾苗被泪水的火焰烧尽 / 我们住在悲伤的另一端 / 隔着高墙看远处的太阳远处的山 / 夜里梦见远处的人 / 用思念的网打捞零散的往事 / 然后让骨头里长满骨头
- xxiii 艾未未读李必丰的诗《天上的地主》<https://www.youtube.com/watch?v=S9KLN9U1c0Y>
《天上的地主》/ 你这天上的老地主 / 我是你叫着人的种子 / 你用我的父母作肥料把我撒满大地 / 却抛弃我而去 / 等我在自留地超拔成苗 / 你这天上的老地主 / 你把金币锻打成生活的镰刀 / 收割我未成熟的一天又一天 / 你这天上的守财奴 / 把智慧和智识积攒在天的深处 / 然后把一些叫真理的画饼 / 交给一个个饥饿的人 / 使千百年来, 战争不断
- xxiv 艾未未读李必丰的诗《在这样的国家, 我们只有冬眠》<https://www.youtube.com/watch?v=tCnmrqS31Z8>
《在这样的国家, 我们只有冬眠》/ 但冬季过早地来临 / 我们的树木开始干枯 / 我们再也没有养份去供奉 / 于是我们的黑发被岁月的雪 / 染得渐渐斑白 / 我们的皮肤像龟裂的田野 / / 冬季来了 / 我们都爱冬眠 / 心脏累了 / 血液累了 / 我们在雪底下冬眠 / 在这样的国家 / 我们只有冬眠
- xxv 艾未未读李必丰的诗《儿子》<https://www.youtube.com/watch?v=tmctoXZbX10>
《儿子》/ 照片在《圣经》里 / 你在爸爸的心里 / 爸爸在你的骨肉里 / 今夜爸爸在伤口的另一边思念你 / 你一点不知 / 这一切的一切谁来理喻 / 寻觅你 / 我的儿子 / 当一切渐渐地陌生 / 我只能倚倚铁窗 / 以血液亲吻关于你的记忆

xxvi 艾未未读李必丰的诗《你是》https://www.youtube.com/watch?v=DsAzvk_c4z0

《你是》／你是／我头颅里蠕动的虫子／自由在高墙外面／爱人在高墙外面／儿子在高墙外面／母亲朋友都在高墙外面／我在监狱里／你在我的血液里／尽管蠕动的虫子让我烦躁／可你从我的里面为我疗伤

xxvii 聞き手：牧陽－「アイ・ウェイウェイインタビュー」2012年9月1日午前9:30 北京草場地フェイクスタジオ艾未未著牧陽一編著『アイ・ウェイウェイスタイル』127-128p

xxviii 対話者：艾未未、崔燦燦 阪本ちづみ訳「不合作方式（FUCK OFF）2」に関する対話 2013年4月2日艾未未著牧陽一編著『アイ・ウェイウェイスタイル』180p 原文は「…这个土壤已经被彻底破坏，在播种和收获之前会被反复翻腾好几次，会乱播过几次其它的东西，所以不要指望有什么丰收，有苗能活下来已经是奇迹。」

xxix この節は牧陽一文「艾未未（アイ・ウェイウェイ）の穴倉生活そして生き埋め生活」として Web ARTi T に 2014 年 6 月 17 日に公表したものに加筆した。

xxx 『艾未未読本』39-41p（『非芸術訪談』109p）

xxxi 『艾未未読本』39-41p（『非芸術訪談』126p）

xxxii 『艾未未-何に因って？』展（森美術館、2009 年 7 月 25 日-11 月 8 日）の巡回展

xxxiii 艾未未：希望共产党胜选 維多新聞 2014-04-02 <http://china.dnews.com/news/2014-04-02/59462655.html>

xxxiv 崔灿灿「关于“艾未未撤展”事件的说明 2014 年 05 月 29 日一给纪念一个理由」PDF <http://www.weibo.com/p/1001603715451535396928>

xxxv 王兴伟 1969 生于中国辽宁沈阳生活和工作在中国北京/1999 创新 I，艺术文件仓库（CAAW），中国北京/2000 不合作方式，上海东廊，中国上海/2004 魂不附体，艺术文件仓库（CAAW），/2005 告诉我... 抓住我... 隐藏的视界——谢南星和王兴伟，艺术文件仓库（CAAW），中国北京

xxxvi 白宜洛 1968 生于河南洛阳，现居北京。展览 2001 “发光体”艺术文件仓库 北京中国“柏林艺术博览会”柏林德国 TakePartUrsMeile 画廊瑞士。

洪磊 1960 年生于江苏常州，1987 年南京艺术学院毕业，1993 年进入中央美院学习版画。摄影装置作品《中国盒子》1996。接连创作出“仿宋宫廷院画系列”、“中国风景（苏州园林）系列”、“黑白山水系列”等作品。现居常州。1999 年参加“创新（一）艺术文件仓库”，北京

郑国谷 1970 年出生于广东省西南部的阳江。这里以生产刀剪而闻名，位于中国南海的边缘。阳江 1988 年建市，鼓励本地农民和其它地区的劳动力进入全新的经济开发区。郑国谷成长于艺术世家。

2000 年“多维—郑国谷”展 北京艺术文件仓库

李大方 1971 年 出生于辽宁省沈阳市 2000 年 毕业于 鲁迅美术学院油画系，获硕士学位现生活和 works 于北京，2000 “小报告”文件艺术仓库七位画家艺术展，北京艺术文件仓库（CAAW）

于凡，男，1966 年 12 月生于山东省青岛。中央美术学院雕塑系。2004-2008 在上苑艺术馆建设大别墅 1300 平方米，工作室 700 平方米，房间 13 间。2003《光—于凡、刘鼎作品展》北京文件仓库，北京

伊德尔，男，1961 年生，蒙古族，北京人，油画家。毕业于内蒙古师范大学美术系。

2002 年 自言自语 艺术文件仓库

李松松，男，1973 出生于北京，1996 毕业于中央美术学院油画系，现工作生活于北京，中国当代青年艺术家之一。

2004 李松松个人作品展—2001 - 2004，中国艺术文件仓库，北京

xxxvii 中国語では《安全性愛，1986》、《带金蛋的小提琴，1986》和《钢琴，2004》）

xxxviii 原文：「…艾未未：这是没法解释的事情，在上海他们把我的名字删去了。当你谈论上世纪 90 年代的中国艺术，是几乎无法回避我的参与。我看到了每一个人的名字，丁乙、王兴伟，从 c 到 z，唯独没有 a，这很有趣。田霏宇：未未，没有做这样的决定，我必须这样做，我们的首席执行官说我们必须这样做，所有人都害怕，警察跟踪你，窃听你的电话，…」http://instagram.com/p/opLNW5qD_q/

xxxix 艾未未撤展 引起争议 纽约时报国际生活 艺术 罗天 2014 年 5 月 29 日 <http://cn.tmagazine.com/culture/20140529/tc29aiweiwei/>

xl 原文：时 间：2014 年 5 月 23 日 19:00/地 点：北京酒仙桥颐堤港/记录方式：手机通话/对 话 者：薛梅 尤伦斯当代艺术中心 CEO /艾未未 /薛梅：本来媒体简报里面是有你的名字，但是他们要求我们把你的名字先撤下来。/艾未未：谁们要求撤下来？/薛梅：你所有的作品都需要审核，然后我已经尽力努力让你的作品展出了。/艾未未：你没有跟我说清楚，是谁要求你把我的名字撤下来？/薛梅：谁？/艾未未：谁要求你把我名字撤下来？/薛梅：喂，我听不太清楚……/艾未未：你说“他们要求先把你名字撤下来”，这个他们是谁？/薛梅：没有，我们整个展览是在一个敏感时期，

- 所以是我把你的名字撤下来了，先把作品先通过，等作品通过以后名字就放墙上，媒体简报里名字是暂时没有放是，最主要是害怕今天开幕他们来封这个地方，你明白我的意思吗？/艾未未：你说他们是谁？/薛梅：哎呀，那个，因为我是法人嘛，在很多东西上是要负责任的。/艾未未：我跟你没有关系啊，你老说他们他们的，他们到底是谁啊？到底什么意思啊？/薛梅：就是各种的呀，中宣部，什么的，各种的啊。/艾未未：中宣部还管你们展览啊？/薛梅：因为我们是外国馆嘛，所有这些都是有举报和连带责任的。/艾未未：那你怎么知道我的名字要撤下别人的名字不撤下呢？/薛梅：没有呀，也有很多啊。/艾未未：我不知道，那么你怎么会说汉斯和“人”建立了文件仓库，你这样做不仅仅是撤了我的名字还改变了一段历史。他创立的文件仓库是和我合作创立的，你怎么能说是和“人”合作的呢？这不是太好笑了么？/……<https://plus.google.com/106372800511710859472/posts/WwPh6uwl1mWC>
- xi 王兴伟在表示尊重的同时也写道“不撤出作品并不能够成（构成）对艾未未先生的伤害！如果还是朋友的话既够不成伤害，也不存在得罪，如果已经不是朋友也够（构）不成伤害，得罪就得罪吧。”
- 风雨声·边界 媒体人「艾未未撤展与中国当代艺术圈的犬儒化」2014年6月8日 http://cn.on.cc/cn/bkn/cnt/commentary/20140608/bkncn-20140608000316872-0608_05411_001_cn.html
- xiii 鲍栋 アート批評家、キュレーター、詩人。1979年安徽蕪湖出身，2006年四川美術学院芸術史修士修了。
- xiii 艾未未在尤伦斯“戴汉志”画展闹撤展 遭齐声抗议 http://www.guanchna.cn/art/2014_05_29_233685_s.shtml
- xiv 鄢醒 アーティスト。1986年重慶生まれ。2009年四川美術学院油画系卒業。2012年中国当代芸術奨（CCA）最優秀若手アーティスト奨受賞。
- xv 上記 艾未未在尤伦斯“戴汉志”画展闹撤展 遭齐声抗议
- xvi 上記 艾未未撤展 引起争议 纽约时报国际生活 艺术 罗天 2014年5月29日
- xvii 原文：“艺术家有权利按照他们想操作的方式去操作，这个也没有对和错。这跟他（艾未未）的艺术风格和方式是有关联的，他不太喜欢平静地开一个展览。
- xlviii 《八五新潮—中国第一次当代艺术展》策展人：费大为 参展艺术家：（按音序排名）：陈箴，触觉小组，丁乙，耿建翌，顾德新，谷文达，黄永砷，李山，刘正

- 刚，吕胜中，毛旭辉，潘德海，沈远，舒群，宋海东，孙良，王广义，王毅，王友身，魏光庆，吴山专，夏小万，厦门达达，肖鲁，新刻度小组，徐冰，杨诒苍，余友涵，张培力，张晓刚 展览日期：2007年11月5日-2008年2月17日 展览地点：尤伦斯当代艺术中心 Ullens Center For Contemporary Art（北京市朝阳区酒仙桥路4号） UCCAは、スイスを拠点とするガイ・アンド・ミリアム・ユルエンス財団の運営。ベルギー出身のギー&ミリアム・ユランス（フランス語原音読み）夫妻が集めた1500点に上る中国現代美術作品が中心。敷地総面積8000平米、天井高9.6メートル。最初の館長は費大为（FeiDawei）。
- xlix 星星成员从不属于所谓“美术界”，八五成员，用现在的话说，就是体制内的激进派。（陈丹青语）陈丹青：“现状”不算“美术史”陈丹青评尤伦斯中心展览《八五新潮—中国第一次当代艺术展》
- 1 鲍栋的金棕榈+金酸酶提名及发言「…一方面，艾未未确实是在政治实践活动的第一线，他没有坐在书斋里边，他确实是冲在第一线，并且为此付出了一定的代价，也确实起到了很大的作用。但从另一方面讲，就他的这件作品而言，“葵花籽”和张洵的作品并没有多大的区别，大量的资金、超大的空间、超密集的资本。在泰特网站公布的展览资料中，有一段对“葵花籽”作品的解读，不外乎是“文革记忆”、“毛主席”，媒体上介绍的也是这些，这意味着艾未未对这些“葵花籽”的用法，他还是在把葵花籽阐释成了一种政治符号，依然是在打一种不太高明的中国牌和政治牌。/实际上，这种“说事”的方式和他所批评的专制政权所喜欢的方式是一样的，比如阅兵式、开幕式，艾未未的葵花籽和张艺谋的人海战术有多大区别呢？除了政治立场。那么政治立场是不是就能决定一件作品的价值？我质疑的就是这个。这就是我提名艾未未作品的理由。」
- http://news.99ys.com/news/2011/0216/20_57352_2.shtml
- li 回避言论审查、自我审查的讨论，认同艺术家被隐去名字、撤除作品的存在，有关中国当代艺术之争论只能是具有中国特色的一厢情愿。撤展事件引发的对人的价值、言论自由精神的质问，未必影响中国当代艺术“没有对和错”“有安排、有策略”的命运。“这个也没有对和错” ニューヨーク・タイムズ中文版読者来信 2014年6月9日 <http://cn.nytimes.com/letters/20140609/cc09letters-aww/>

- lii 毛同強 1960年寧夏銀川生まれ。1980年寧夏大学美術系卒業。2004年「賀蘭山房」で中国建築芸術奨受賞。2009年「地契」、大量の土地契約書を展示した。
- liii 馮博一 1960年北京生まれ。1984年首都師範大学歴史系卒業。1991年中央美術学院美術系で研修。中国美術家協会『美術家通訊』編集など務める。独立キュレーター、美術評論家、編集者。「FUCK OFF 1/2」などで艾未未の共同キュレーターを務める。
- liv 李範文 漢族、1932年陝西省西郷県生まれ。西夏学の国際的な大家。西夏の言語、文字、歴史、文化、考古学など多領域に亘る研究がある。数十冊の著作がある。代表的なものに《同音研究》、《夏漢字典》、《宋代西北方言》、《西夏陵墓出残碑萃編》、《西夏通史》、《西夏研究》(1-8輯)がある。
- lv 艾未未のこゝろ 10 変えていく力：インタビュー / ケイティ・ドノヒュー (Whitewall Magazine) (訳 / 阪本ちづみ)「Whitewall Magazine」(2010年春号) http://www.art-it.asia/u/admin_ed_contri13_j/hlnDbdcYyeVZIABC6s4J

- lvi 艾未未: “腿枪照”の目的は反対武力被滥用/2014-06-16 自由亚洲电台/异见艺术家艾未未说, 最近几天他在互联网上掀起“腿枪照”热潮的目的是为了表明, 在反恐运动中武力使用过度。/ 美联社援引艾未未的话说, 自从9/11以后, 以及民众的武器持有率居高不下问题以来, 世界上的人们都经历了恐怖袭击带来的恐惧。以反恐的名义, 武力正在被过度使用。/ 上周三, 艾未未在 Instagram 网站上传了他自己、芭蕾舞演员以及其他把腿抬高当枪瞄准的照片后, 引发众多网友模仿, 纷纷上传、转发类似姿势的照片。/ 艾未未谈“腿枪照”引发的模仿热潮/来源: 法广 著名艺术家艾未未发起“腿枪”运动讽刺中共当局 请看博讯热点: 六四 (博讯北京时间2014年6月19日 首发 - 支持此文作者/记者) http://news.bboxun.com/news/gb/china/2014/06/201406190611.shtml#.U84aQON_vKg1993年
- lvii アレン・ギンズバーク経田佑介訳「カールとの最後の会話」『現代詩手帖特集版 総特集 アレン・ギンズバーク』1997年12月31日思潮社



写真1 Straight 2008-12



写真2 陶器のスイカ 2006



写真3 傻伯夷(シャーパーイー)2013



写真4 メルケル・習近平 2014年3月29日



写真5 名前が消される2014年4月30日



写真6



写真7



写真8



写真9



写真10

写真6～10 レッグガン 2014年6月6日～